

## 令和 3 年度 第 3 ステージ大学塾 開催案内

### 「印象派」の絵画を楽しむ モネ、ルノアールなど

19 世紀後半に活躍した「印象派」の作品は、日本だけでなく世界各地で愛されています。それは、身の回りの風景や親しみやすい日常生活を明るい色彩で分かりやすく描いているからでしょう。今回は、風景画のモネ、風俗画のルノアール、そして、日常生活を中心に描いた女性画家のモリゾとカサットに焦点を当てて、「印象派」の絵画の世界を訪ねます。



クロード・モネ 烏・ジャポネーズ

毎回 日曜日 午後 2 時～午後 4 時

回	月日	講義内容	講師
第 1 回	11 月 14 日	モネ 美しい自然の風景画	島田 紀夫 氏 前 ブリジストン美術館館長 実践女子大学名誉教授
第 2 回	11 月 21 日	ルノアール 日常生活を描いた風俗画	
第 3 回	11 月 28 日	モリゾ、カサット 印象派の女性画家	

### わかりやすい 遺産相続と後見制度

遺産相続は親族争いとなりがちですが、できれば円満な相続をしたいものです。それには遺言書を作成し、遺産の分配に明確な意思を残すことが必要です。又、認知症になると本人も家族も大変辛い思いをします。成年後見制度、任意後見制度を正しく理解して、穏やかな生活を実現しましょう。



毎回 金曜日 午後 2 時～午後 4 時

回	月日	講義内容	講師
第 1 回	11 月 19 日	遺産相続と遺言書の作成	小出 康夫 氏 東京弁護士会登録 足立区人権擁護委員・公益観察員 (足立区在住)
第 2 回	11 月 26 日	成年後見と任意後見	

# 令和3年度 第2ステージ大学塾開催報告

## 「ひらがなの魅力をさぐる」やまとことば

講師には過去2回、遠藤周作講座でお世話になった原山達郎氏を迎え、7月6日に第1回目の講座を開催し、応募者38名、受講者26名でした。第2回目を7月13日、第3回目を27日に予定しておりましたが、緊急事態宣言の延長により開催できず、9月14日、28日に日延べいたしました。しかし、緊急事態宣言再延長のため施設利用自粛となり、第2回目、第3回目はやむなく中止にいたしました。



第1回目は「ひらがなが成立したのはいつごろ」の講義でした。

文字のない時代、話しことば文化だった日本は4～5世紀に中国から朝鮮を通して漢字が伝わると、口承言語「話しことば」だった「やまとことば」を表語文字である漢字の音韻と語意を借りて『万葉集』を編み（万葉仮名）、漢字の崩し字による江戸仮名（変体仮名）を経て、ひらがなになった。中国の影響を大きく受けた万葉仮名から300年以上の長いトンネルを抜けて、ようやく明治33（1900）年に現在のひらがなができた。万葉の「やまとことば」は複雑な発音で、万葉時代の発音を聞いてもおそらく意味不明だろうという。今使っている「ひらがな」は丸くて、柔らかくて、優しい。万葉仮名の流れを汲む「ひらがな」は「話しことば（口承）文化」を二十一世紀の現代に伝える「からだことば」で、日本人の身体（遺伝子）に刻みこまれたやまとことば（和語）である。その口承文化を育んだオノマトペ（擬態語・擬声語）はまさにからだことばにある。その他、「いろは歌」の誕生や現存最古の五十音図、方言の伝わるルートなどについての解説もして頂いた。普段何気に使っていることばの源を解き明かしていく面白い講座だっただけに第2回目3回目の講義の開催ができなかったことが残念でなりません。中途半端な講座となってしまい、受講者のみなさんにご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

第1回目の講義の質問に対して講師より詳しく回答書を頂きました。第2回目講座資料も準備できておりましたので、回答書と合わせ受講者の皆さんに郵送いたしました。

林 令子)

## 代表理事よりの報告・連絡

### 緊急事態宣言延長に伴うあだち区民大学塾講座の対応について

コロナ禍の中、令和3年度前期あだち区民大学塾講座は9講座が計画されていました。

4月は日本経済入門2021を開催出来ましたが、5月からの緊急事態宣言発出により5月、6月に計画されていた4講座は中止となり、7月に入り、「ライフプラン」と「やまとことば」は1日目だけ開催することが出来ました。その後も緊急事態宣言が延長される中、9月の2講座も中止となり、前期は9講座の計画に対し、3講座の開催で終了しました。講座を企画し、講座の準備を行い、募集しては中止を繰り返し結果となり、会員の皆様には大変なご苦勞をいただき厚く御礼申し上げます。緊急事態宣言発出中にもかかわらず積極的に講座に申込をいただいた受講者の皆様にお詫びするとともに、ご希望に報いることができず、非常に残念な思いでした。後期講座が10月からスタートします。緊急事態宣言が解除され無事に開催されることを切望致します。

緊急事態宣言が9月13日以降も再延長され、生涯学習センターの施設が原則自粛となりました。

9月に開催予定のあだち区民大学塾講座の対応についてまとめました。

- ① 「ひらがなの魅力をさぐる」やまとことば1回目を7/6（火）開催し、一旦、2回目を9/14（火）、3回目を9/28（火）に延期しました。1回目の受講者26名、9/13以降も延長された場合、2回目、3回目は中止とし、9/6（月）に受講者にハガキにて連絡しました。
  - ② 江戸庶民と武士の暮らし入門9/12までの緊急事態宣言に対し、1回目9/18、2回目9/25、3回目10/4（月）に延期した。9/13以降も延長された場合中止を記載し、8/27（金）にハガキ、メールにて連絡。
  - ③ 江戸のヒロイン～歴史をつくった女性たち～9/20（月、祝日）開催予定  
9/13以降も延長される見通しとなった9/10（金）にハガキ、メールにて中止を連絡しました。
- 以上、9月の3講座は緊急事態宣言の延長、再延長により、残念ながら全て中止となりました。

## みんなの広場

### 自然の恵み・恩恵を懐かしむ

夏の朝はミンミンゼミやアブラゼミの合唱で起こされる毎日であった。それが今年はセミの鳴き声が少ないなと隣のおじさんも言っていた。初夏になる頃、近くの樹木が全てなくなったからだ。かろうじて、セミは我が家の棕の木と桜の木にとまって鳴いていた。先日までツクツクボウシが思い出したように時々鳴いていたが、それも聞こえなくなった。

我が家の裏になる西側のお宅に立派な樹木が生い茂り、季節ごとに様々な花を咲かせてくれる広い敷地の庭があった。窓を開けると樹を渡る風が入り、木々の緑や花々が目を楽しませてくれ、その香りをかぐこともできた。小鳥や蝶が飛び交い、セミの合唱、秋虫のささやきなど、いつも小さな自然が息づいていて季節を豊かにしてくれていた。我が家の裏のウッドデッキに立って、その庭を眺めているのが私は好きだった。爽やかな風、涼しい風が一番通る我が家のありがたい場所だった。



思えば43年前、ここに住み始めてから沢山の恩恵を受けてきた。転居間もないころは自宅で町医者をやっておられた先生が、仕事を終えたあと尺八を奏でられていた。尺八の音を聞かされた時に、せかせかと家事をしている私の気持ちが、いつのまにか落ち着き癒されていた。尺八のこともわからないし、曲も知らないものだったが、不思議に落ち着く音色であった。尺八の音色に先生の人柄が出ていたような気がする。

庭の隅の畑では、奥さんが“あしたば”や“ゴーヤ”を作っておられ、取りたての野菜をよく頂いた。お二人とも気さくな方で、町内に良く溶け込んでいらした。新入りでこの地に家を建てた私たちに隣のよしみで声掛けして頂き、長いこと暖かく接して頂いた。

ここ10年の間にいろいろと変化した。クリニックは閉院され、その後先生は高齢で亡くなり、そのまた数年後には奥様が施設に入れられ、3年前くらいから無人家となった。しばらくは庭師が入ってきれいになっていたが、昨年くらいから手が入らず木は伸び放題だった。今春、娘さんから土地を売却しましたとあいさつを受けた。

庭の広い200坪近くあったお宅はゴールデンウィーク中に建物が壊され、樹木がすべて抜かれて更地になった。と思う間もなく造成され、6棟の住宅が一斉に建築されはじめ、今は完成間近で夏前から売り出されている。あれよあれよという間のここ数ヶ月であった。建売専門業者が建築するのだからとは思いますが、とにかく工事の進捗が早く、我が家を建てなおした15年前ともいろいろ違うなあと見ている日々だった。



失ってはじめてその大切さが身に染みるというが、裏のお宅がなくなったことで我が家は、身近な自然のありがたさと今までの数々の恩恵の深さにあらためて気づかされた。今まで40年余りもの長い間、変わらぬままにあったことがとても貴重で、有り難いことだったのだ。

ウッドデッキのすぐ側に隣家ができた。これから新しい6世帯が揃ったら、人の声で賑やかになることだろう。しかし、昨年までのような情緒ある自然の恵みは味わえない。

(林 令子)

## 生涯学習センター 講座情報

### ◎ 講座名：フレイル予防もばっちり！

#### ラク「チン」食品活用術

日 時：11月27日(土) 午後1時～2時30分  
対 象：おもに65歳以上の方又は介護に携わる方  
会 場：5階 研修室1  
受講料：670円(一律教材費込み、講座当日にお支払いください)  
定 員：30名(事前申込先着順)  
講 師：小浦 梓 氏(管理栄養士 社会福祉法人 愛寿会 認定栄養ケア・ステーション)  
内 容：高齢者のみなさん、最近、料理が面倒でついつい偏食がちになっていませんか？栄養ケアバランスも心配ですね。この講座ではそんな高齢者の方に、冷凍食品などで簡単に出来て尚且つ栄養も取れてしまうレシピをご紹介します！  
ラク「チン」レシピで美味しく健康に食事を楽しみましょう！

### ◎ 講座名：ステイホームも便利に暮らそう！

#### インターネット通販体験

日 時：11月25日(木) 午前10時～午後3時  
(途中昼休憩有)操作復習会(自由参加・無料) 午後3時15分～4時15分  
対 象：文字入力ができる概ね60歳以上の方  
会 場：5階 コンピュータ研修室  
受講料：3,500円(一律、講座当日にお支払)  
定 員：10名(事前申込先着順)  
講 師：青柳 涼 氏(パソコン講師、WEB作りサポーターあおいろ代表)  
内 容：全国の特産品や日常で使う食品、衣類、書籍等、自宅に居ながらにしてありとあらゆる物を購入できるインターネット通販。コロナ禍にピッタリですね。本講座では、架空のネット通販サイトを使って、実践的にネット通販の操作を体験します。安全に使うポイントもご紹介しますよ。  
ステイホームも便利に暮らしましょう！

お申し込みは：電話(03-5813-3730)

または直接窓口

インターネット[近所 de まなびナビ]で検索  
イベント・講座情報→講座予約システム

## 10月「月例会」のご案内

月例会は次の通りです。

日 時：10月18日(月) 午後3時～5時  
場 所：生涯学習センター 5階 研修室5  
テーマ：足立区一般施設のマネジメント計画  
「戦略的な公共施設マネジメントの推進」  
講 師：足立区生涯学習支援課長 西出 豊 氏  
テーマ：生涯学習センター

### 令和3年度重点事業

講 師：生涯学習センター所長 平野 昌暁 氏  
皆様の積極的な参加をお待ちしています。  
(ボランティア活動推進部)

## 楽学インフォメーション ★会合のお知らせ★

- ◎ 運営委員会  
10月6日(水) 午後3時～5時 研修室4
- ◎ 月例会  
10月18日(月) 午後3時～5時 研修室4
- ◎ 学習支援部  
10月18日(月) 午後1時～2時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部  
10月12日(火) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局  
10月7日(木) 午後2時～4時 ニュース放送  
10月13日(水) 午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 広報グループ  
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議  
10月18日(月) 午後2時～3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議  
10月6日(水) 午後1時半～3時 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日  
10月11日(月)

### ★お問い合わせ＆ご意見等

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ  
事務局 江川武男 電話090-3105-8140  
E-Mail: [takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp](mailto:takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp)
- ◎ 「ホームページ」に関するお問合せ  
広報G 神戸 明 電話:03-3606-0058  
E-Mail: [kambe.akira2@gmail.com](mailto:kambe.akira2@gmail.com)

## 編集後記

### “SDGs”プラごみ問題と向き合う

経済の成長と便利なライフスタイルと共に増加の一途を辿ってきたプラスチック製品、いま海洋を浮遊するプラスチックごみが世界的な問題となっています。

世界経済フォーラム(ダボス会議)では、2050年には、海のプラスチックごみの重量が魚の重量を上回ると報告している。近年では、目に見えないマイクロプラスチック(粒子)が水道水やペットボトル入り飲料水、魚介類や食塩(海水塩)などからも検出され、1週間にクレジットカード1枚分(約5g)のプラスチックが体内に取り込まれていると、豪ニューカッスル大学などが報告している。海に流れ込むごみの5～8割は河川由来(不法投棄ごみ)と言われています。荒川でのクリーンエイドの活動はSDGsに大きく貢献しており、内閣府地方創生SDGs官民連携プラットフォームで事例としても紹介されています。

ごみ問題を通して大量消費社会から循環型のライフスタイルへの転換が求められて居ます。

私たち一人ひとりがごみ問題と向き合い、行動を起こし、自然ととともに生きる社会の実現(果たす使命)のために出来る事から取りくみましょう。(金子記)